

**安全データシート (SDS)**

2018年12月26日  
2024年1月15日

**1. 化学品及び会社情報**

化学品等の名称	ツインコーク™
会社名	デュポン・スタイロ株式会社
住所	〒322-0014 栃木県鹿沼市さつき町11-1
電話番号	0289-76-2555
ファックス番号	0289-76-0374
緊急連絡電話番号	0120-113-210
推奨用途及び使用上の制限	建築用スタイロフォーム™用接着剤

**2. 危険有害性の要約**

GHS分類

爆発物	分類対象外
可燃性・引火性ガス (化学的に不安定なガスを含む)	分類対象外
エアゾール口	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分4
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	区分外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: ガス)	分類対象外
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	分類できない

環境に対する有害性

吸引性呼吸器有害性	区分外
水生環境急性有害性	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

安全データシート (SDS)

GHSラベル要素

絵表示 (ピクトグラム)



注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
可燃性液体 (H227)  
重篤な眼の損傷 (H318)

注意書き

[安全対策] 熱/火花/裸火/高温のもののような着火減から遠ざけること。禁煙。保護手袋を着用すること。  
[応急措置] 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。

保管  
廃棄

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 混合物  
化学名又は一般名 変性シリコーン樹脂系接着剤

組成物質名	CAS登録番号	指定化学物質の種別	化審法官報公示整理番号	濃度又は濃度範囲
酸化カルシウム	1305-78-8	労*	-	1~5%
有機スズ化合物	非開示	-	非開示	<1%

\*労働安全衛生法に基づくラベル表示及びSDS交付義務対象物質

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い場合は医師の診察を受けること。  
皮膚に付着した場合 直ちに医師に連絡すること。多量の水と石鹸で優しく洗うこと。汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗を続けること。直ちに医師に連絡すること。  
飲み込んだ場合 口をすすぐこと。直ちに医師に連絡すること。無理には吐かせないこと。  
応急措置をする者の保護 適切な保護具を着用して作業する。

## 安全データシート (SDS)

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末化学消火剤、炭酸ガス、スプレー水又は通常の消火剤、砂/土
火災危険性	可燃性固体
特有の消火方法	火災の場合：安全に対処できるならば漏洩を止めること。安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
消火を行う者の保護	圧縮空気・酸素呼吸器、耐火防護服

### 6. 漏出時の措置

保護具	適切な保護具を着用して作業する。
応急措置	皮膚、眼との接触を避ける。露出エリアを換気する。漏出した製品に接触することもその上を歩くこともしないでください。関係者以外の立入りを禁止する。
環境に対する注意事項	下水道や公共用水域への侵入を防ぐ。排水溝または水路への侵入を防ぐ。製品を環境中に放出しない。
封じ込め方法	大規模漏出の場合、溝に漏出を封じ込め、その後の安全な廃棄のため、湿った砂または土でふさぎます。可能であればリスクなく漏出をせき止める。
浄化方法	少量の液体流出：不燃性吸収材に取り込み、廃棄用容器に入れる。砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。回収した製品は、十分冷却したのちに、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<p>技術的対策：『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p> <p>局所排気・全体換気：『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。</p> <p>安全取扱い注意事項：『10.安全性及び反応性』参照。作業所の十分な換気を確保する。眼、皮膚、衣類につけないこと。粉じん/煙 /ガス /ミスト /蒸気 /スプレーを吸入しないこと。火気厳禁、静電気注意。</p>
保管	<p>安全な保管条件：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。日光から遮断すること。乾燥した安全な場所に保管し、湿気を避ける。保管温度：5~35°C</p>
衛生対策	<p>製品取扱い後には必ず手を洗うこと。</p>

### 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">酸化カルシウム (CAS no. 1305-78-8)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">TWA</td> <td style="text-align: center;">2 mg/m<sup>3</sup>, STEL</td> </tr> </table>	酸化カルシウム (CAS no. 1305-78-8)		TWA	2 mg/m <sup>3</sup> , STEL
酸化カルシウム (CAS no. 1305-78-8)					
TWA	2 mg/m <sup>3</sup> , STEL				
設備対策	十分な換気を行う。局所排気装置を設置する。				
保護具	<p>呼吸用保護具： [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。</p> <p>手の保護具： 適切な保護手袋</p> <p>眼、顔面の保護具： 適切な眼の保護具を着用すること。</p> <p>皮膚及び身体の保護具： 長袖作業衣、必要に応じて保護服及び保護長靴を着用する。</p>				

**安全データシート (SDS)**

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

物理状态:	ペースト状
色:	白色
臭い:	ほぼ無臭
融点・凝固点:	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲:	データなし
可燃性:	
爆発下限界及び爆発上限界	データなし
／可燃限界:	
引火点:	84°C セタ密閉式
自然発火点:	データなし
分解温度:	データなし
pH:	データなし
溶解度:	水に不溶
蒸気圧:	データなし
密度:	1.2~1.4 g/cm <sup>3</sup> (23°C)
n-オクタノール／水分配係数	データなし
(log値):	
動的粘度:	60~150 Pa·s (20 r/min)
動粘性率:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性, 化学的安定性	水、空気中の水分と反応する。通常条件下では安定。
避けるべき条件	特に該当しない。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素

11. 有害性情報

各成分の有害性区分判定

急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: ガス)	非該当
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉塵, ミスト)	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性	重篤な眼の損傷
／眼刺激性	
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	区分外

**安全データシート (SDS)**

1 2. 環境影響情報

生態系-全般	漏洩・廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意。
水生環境急性有害性	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	分類できない

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従うこと。廃棄の際は危険情報の反応性を踏まえて処理を行うこと。
汚染容器及び包装	外箱、紙管など紙製容器・包装:回収または紙くずとして処理(単体で管理型産業廃棄物、付着成分がある場合も管理型産業廃棄物)。空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後産業廃棄物として処理または回収にまわす。 金属缶、金属ドラム、金属チューブ類:金属くずとして処理(単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う)。 ガラス容器:ガラスくずとして処理(単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う)。 プラスチック製のボトル、チューブ、袋など:廃プラスチック類として処理(単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う)。

1 4. 輸送上の注意

国内規制	陸上規制情報： 消防法、労働安全衛生法、毒劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。 海上規制情報： 船舶安全法に定めるところに従う。 航空規制情報： 航空法では危険物に該当しない。
国際規制	

	道路輸送 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)
国連番号 (UN No.)	非該当	非該当	非該当
国連正式品名	非該当	非該当	非該当
輸送危険物分類	非該当	非該当	非該当
国連分類 (Class.)	非該当	非該当	非該当
容器等級:	非該当	非該当	非該当
環境有害性	非該当	非該当	非該当

海洋汚染物質	非該当
特別の安全対策	『7.取扱い及び保管法』の記載に従うこと、容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

**安全データシート (SDS)**

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき有害物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)  
 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)  
 酸化カルシウム(政令番号：190) (1~5%)、すず及びその化合物 (法令指定番号：322) (5%未満)  
 (該当せず)

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	該当しない
消防法	指定可燃物 可燃性固体類 [火気厳禁]
毒物及び劇物取締法	該当しない
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項

16. その他の情報

ホルムアルデヒド放散等級                      日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA-001452 F☆☆☆☆  
 4VOC放散速度基準                              日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA-501121 4VOC 基準適合

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。以前にお渡しした本製品の安全データシートをお持ちの方は破棄してください。法改正や製品の改良によりSDSを改訂する場合がありますので、作成・改訂日が2年以上たっている場合は最新版であるかどうか材卸確認ください。

SDSの伝達の経路:安全データシート(SDS)は原則として次の経路で最終取扱事業者様へ伝達されます。恐れ入りますが、未入手の場合のSDSの御請求や最新版の問い合わせは、販売ルートを通じてお申し出下さい。  
 【メーカー → 代理店 → 取扱い事業者】

免責条項：当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

改訂履歴	2021年1月	新規作成
	'2024年1月	最新の情報に基づきGHS区分・該当法規の見直し。